

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	箕面市瀬川4丁目計画	階数	地上2F
建設地	大阪府箕面市瀬川	構造	S造
用途地域	準住居地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、集会所、病院、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2024年4月15日
敷地面積	6,143 m ²	作成者	松永 康宏
建築面積	1,753 m ²	確認日	2024年5月9日
延床面積	3,346 m ²	確認者	古市 忠嗣

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.9 ★★☆☆☆</p>	<p>30% ★☆☆☆☆ 60% ★☆☆☆☆ 80% ★☆☆☆ 100% ★☆☆ 100%超*</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したもので</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)
Q 環境品質
Q1 室内環境
Q1のスコア= 2.4
5 4 3 2 1 音環境 1.7 温熱環境 2.2 光・視環境 3.3 空気質環境 2.7
Q2 サービス性能
Q2のスコア= 2.9
5 4 3 2 1 機能性 2.4 耐用性 3.0 対応性 3.5
Q3 室外環境 (敷地内)
Q3のスコア= 2.5
5 4 3 2 1 生物環境 2.0 まちなみ 3.0 地域性・ 2.5
LR 環境負荷低減性
LR1 エネルギー
LR1のスコア= 3.2
5 4 3 2 1 建物外皮の 3.7 自然エネ 4.0 設備シス 3.0 効率的 3.0
LR2 資源・マテリアル
LR2のスコア= 3.1
5 4 3 2 1 水資源 3.4 非再生材料の 2.9 汚染物質 3.3
LR3 敷地外環境
LR3のスコア= 3.3
5 4 3 2 1 地球温暖化 3.7 地域環境 3.0 周辺環境 3.4

3 設計上の配慮事項	その他
総合	特になし
利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。	
主要給排水配管は耐用年数が長い材料を使用している。	
ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	
Q1 室内環境	Q3 室外環境 (敷地内)
トップライト使用している。	特になし
Q2 サービス性能	
売場の天井高3.3m以上。 階高-5.7m。 $0.1 \leq [壁長さ比率] < 0.3$ 。	
LR1 エネルギー	LR3 敷地外環境
BPI _m =0.92。 手動の開閉窓を使用している。	適切な台数の自転車置場(バイク置場合む)及び駐車場に加えて、荷物を車両の駐車施設も確保している。 日影規制に対して1ランク上の基準を満たしている。 光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。
LR2 資源・マテリアル	
節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGS使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフソーカルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存 2024V1.3

【建物概要】 建物名称		箕面市瀬川4丁目計画			
建設地		大阪府箕面市瀬川			
用途／区分		集会所 病院 物販店			
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B-	
①	CO2削減			4	
②	みどり・ヒート アイランド対策			3	
③	断熱性能			4	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外		評価対象外
④	エネルギー消費性能			3	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外		評価対象外
	非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分			3	
⑤	自然エネルギー直接利用				
	再生可能エネルギー	太陽光発電	○	風力	—
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—
	地熱	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告					報告しない
【評価項目】					
項目	評価内容				スコア
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮				3.7
② みどり・ヒートアイランド対策					4
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出				2.0
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善				3.0
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制				3.7
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化				3.0
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用				4.0
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない
その他					
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項		
特に配慮した事項					